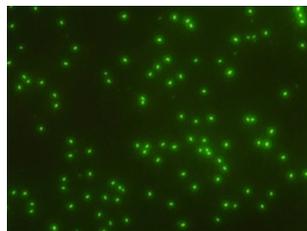
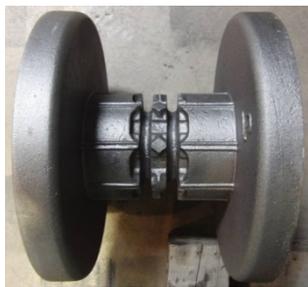
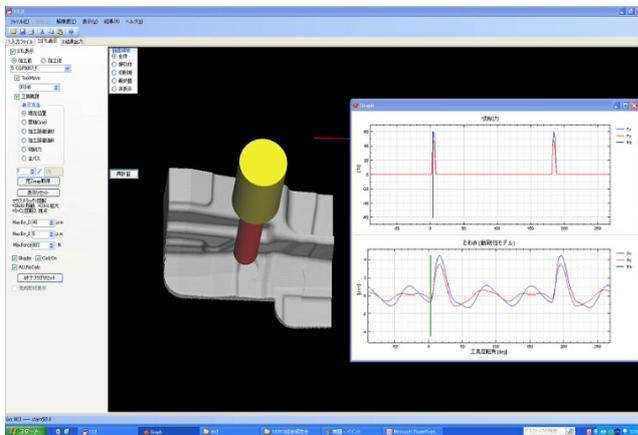


平成24年度 成果集



平成25年 5 月

はじめに

アベノミクス効果, 米国経済復活の影響等で, 日本経済は活況を見せ始めています。一方, 少子高齢化による市場の縮小, 生産拠点の海外移転, 国際化する企業競争等, 企業を取り巻く課題は山積みのままです。社会に目を向けても, 環境の意識は定着化しつつあり, また生活の安全・安心への意識もますます高まりを見せています。

長いトンネルを抜けた時に, どのような社会がまっているか, 工業, 農林水産業等の産業界あるいは経済界だけでなく, 人のくらし, 価値観にも変化が現われ, 新しい社会が到来することが予想されます。

このような社会に向けてこそ, 我々, 総合技術研究所の価値が問われると考えています。総合技術研究所は資源・環境を大切にしながら, 人のくらし, 地域の発展を追及することを大きな使命と捉え, 保健, 食品, 工業, 農林水産の8つのセンターが融合・連携し, 新しい技術, 生産システム, さらに社会システムの実現を目指して研究開発を進めております。

また, 研究開発により蓄積・保有した技術, 人材を最大限に活用して, 日々の技術支援や行政支援にも努めております。

本年度の成果集では, 昨年度までの3か年, プロジェクト研究として推進して大きな成果を得た「金型高精度加工システム開発プロジェクト」を特集として取り上げました。このプロジェクトで得られた成果は県内の金型産業の活性化に貢献するものと自負し, 現在, 多くの企業へ移転することを目指して活動を進めています。

さらに, 県内の産業競争力を高めるために実施した研究成果(11テーマ), 成果の大きかった技術支援の概要(8テーマ)を取り上げました。これらは, 時期の早遅はあるにしても, 県内の企業に技術移転され, 産業を支えるものと信じております。是非これらの成果を企業, 農林水産漁業者の方々に御活用いただければと期待しております。

平成25年5月

広島県立総合技術研究所
所長 松岡 孟

目次

特集 | 金型高精度加工システムで広島県製造業の未来を支える！

ページ

1 - 6 | 広島発の金型高精度加工システム開発プロジェクト

主要な研究成果 |

- 8 | 水質分析の超高速前処理法の開発
- 9 | 耐熱性の食品腐敗菌を迅速測定
- 10 | 鑄造時の表面処理で強度を高める技術
- 11 | 夏でも収穫できるワケギ新品種
- 12 | イチジク株枯病の簡易検出「枝挿し法」の開発
- 13 | 飼料イネ新品種「たちすずか」で乳量アップ
- 14 | そしゃくセンサーで牛の放牧管理
- 15 | 遺伝子情報を活用して口溶けのいい広島牛を生産
- 16 | 生かきの消費期限を延ばす技術
- 17 | 冷水病に強く、河川を遡上しやすいアユ
- 18 | 木材の低コスト難燃化処理技術

主要な技術支援 |

- 20 | 柚子ヨーグルトの製品化を支援
- 21 | 圧力分解エキスをを用いた製品の開発支援
- 22 | 環境対応型船舶エンジン弁棒の開発支援
- 23 | 近赤外撮影が行えるデジタルカメラの製品化支援
- 24 | 高齢者ネイルケアで使いやすい爪やすりの開発
- 25 | 医療用光電グロトグラフィの開発
- 26 | メッキ廃水からの有価金属の回収技術
- 27 | 小径材を活用した異樹種集成材の開発支援

資料

- 28 - 29 | 平成24年度追跡評価結果
- 30 | 平成24年度受賞実績
- 31 - 34 | 平成24年度実施研究課題
- 35 - 36 | 広島県有知的財産権一覧
- 37 | 広島県立総合技術研究所各施設の連絡先